2016年12月期 第１四半期　決算説明会

～アジアNo.1のマーケティング・ソリューション・プラットフォーマーに。そして世界へ～

GMO RESEARCH

STOCK CODE : 3695

代表取締役　細川 慎一
取締役　澤田 裕介

1 事業概要

2 2016年12月期１Q決算概要

3 ＜参考資料＞

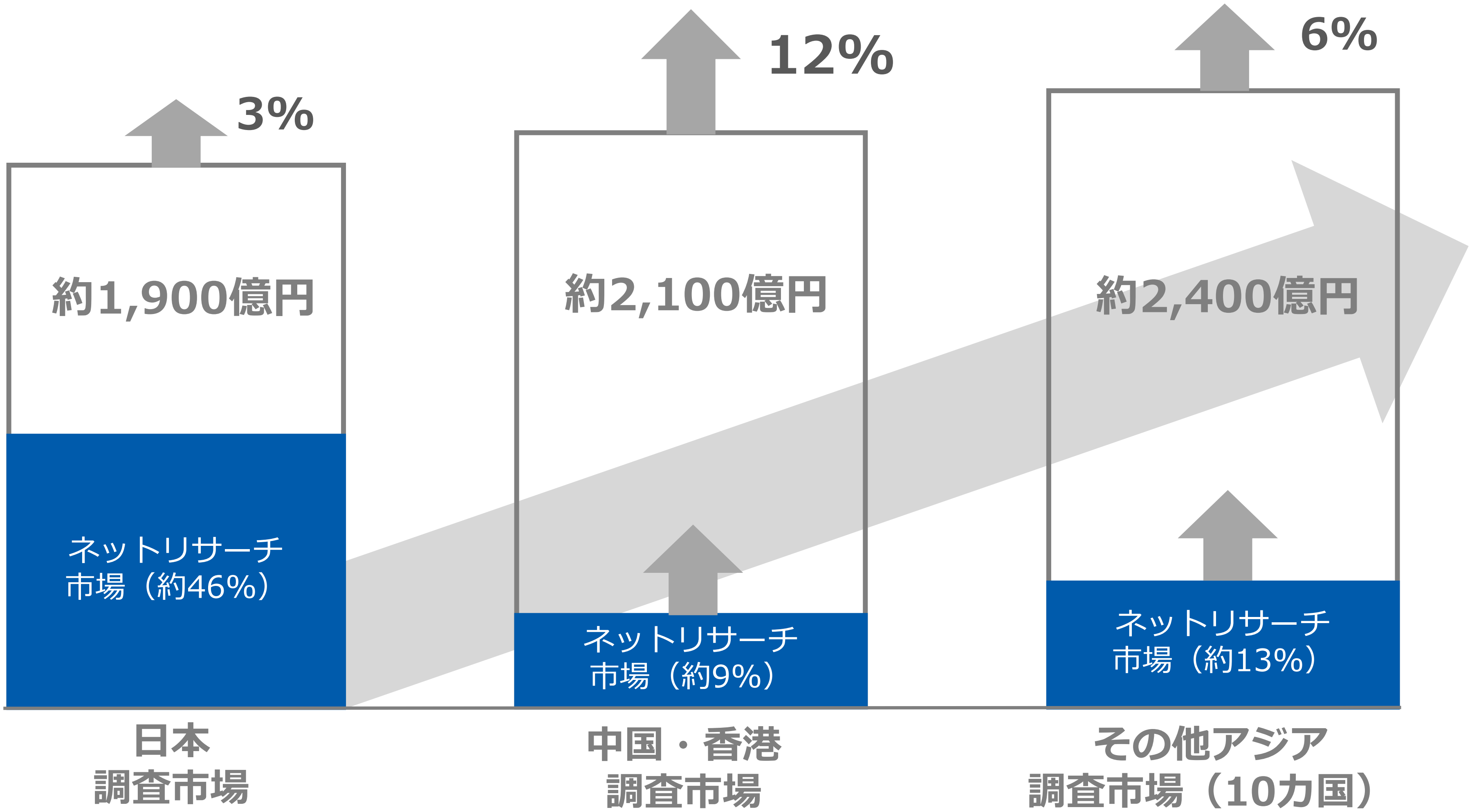
1 事業概要

■ 当社のミッション

Mission Statement
最先端のインターネット技術を駆使した、
アジア・ナンバー1の
「マーケティング・ソリューション・プラットフォーム」を
進化・普及させることによって、
世界の
マーケティングの
変革を実現する。
GMO RESEARCH

GMO RESEARCH

■ アジア地域のインターネットリサーチ市場は今後さらに拡大すると予想

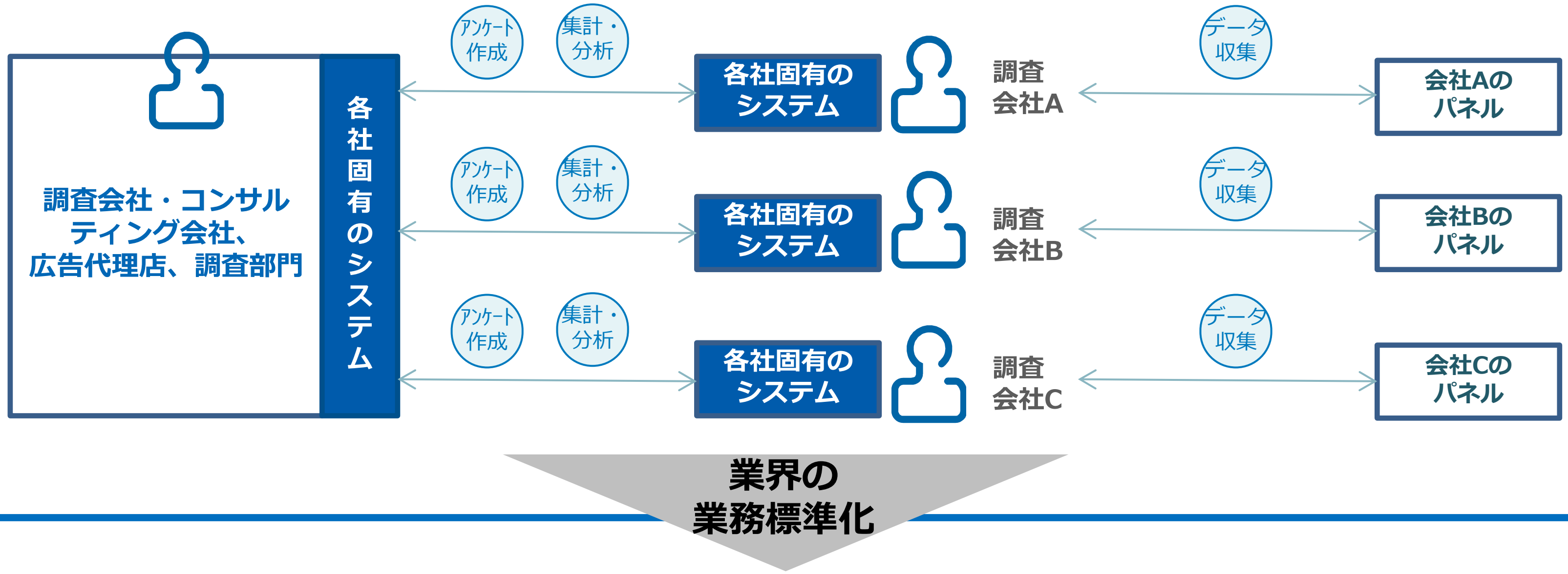


ESOMAR 、
中国マーケティングリサーチ協会調べ

■ インターネットリサーチ市場に対して、調査用プラットフォームを提供

■ 顧客へ調査プラットフォームを提供し、固定客化（D.I.Y化の推進）

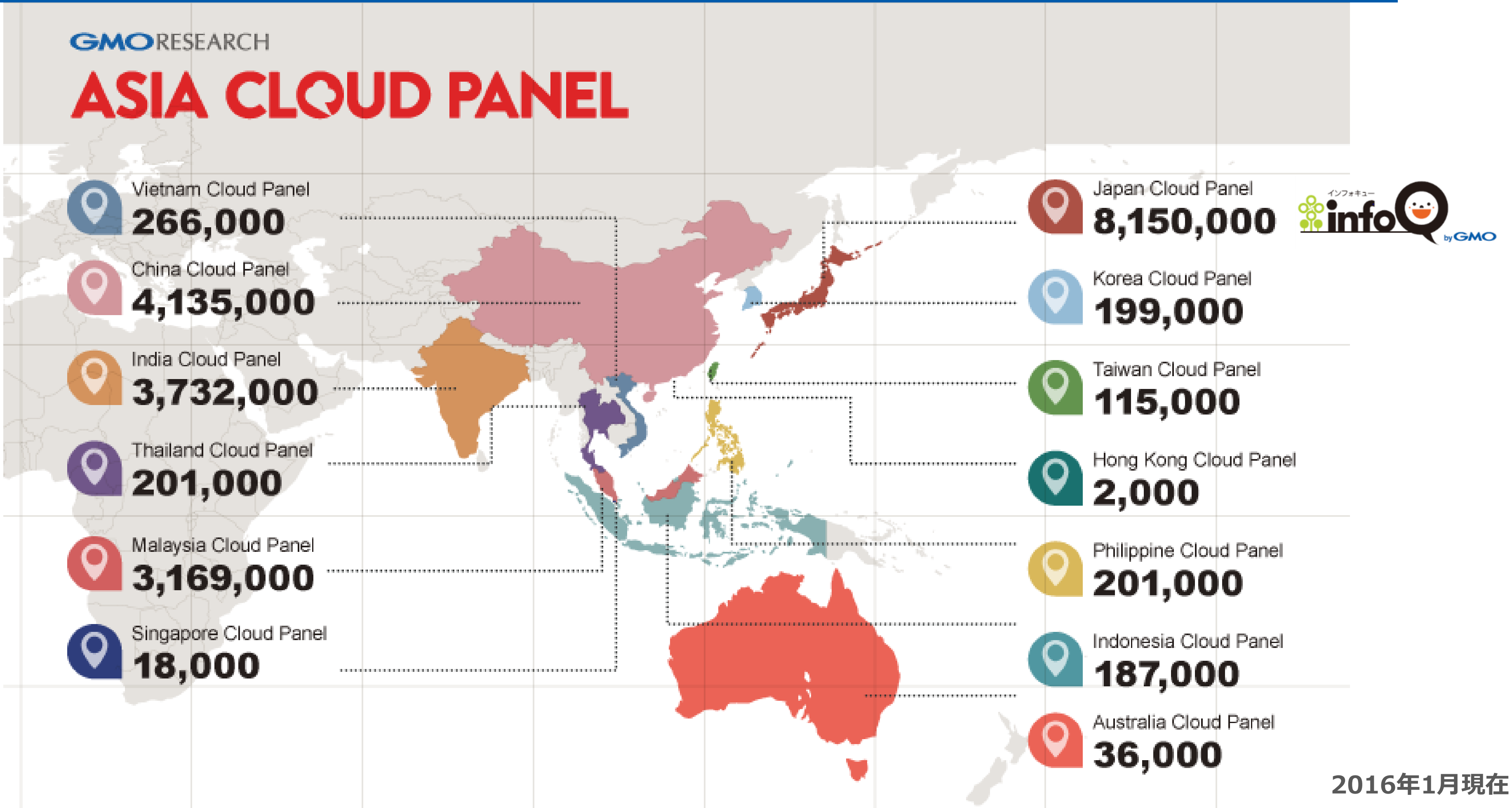
従来



標準化

GMO RESEARCH

- アジア各国の調査パネルを提携によりネットワーク化し、自社調査サイト「infoQ」を含む、パネル提携先36媒体に向けて、調査配信が可能。
- 業界最大規模（2,000万人超）のパネルネットワークを構築。



2016年1月現在

GMO RESEARCH

■ 自社会員を持つ企業が「ASIACloudPanel」に参加することで、企業および当社の双方にメリット

CLOUD PANEL

パネル供給変革

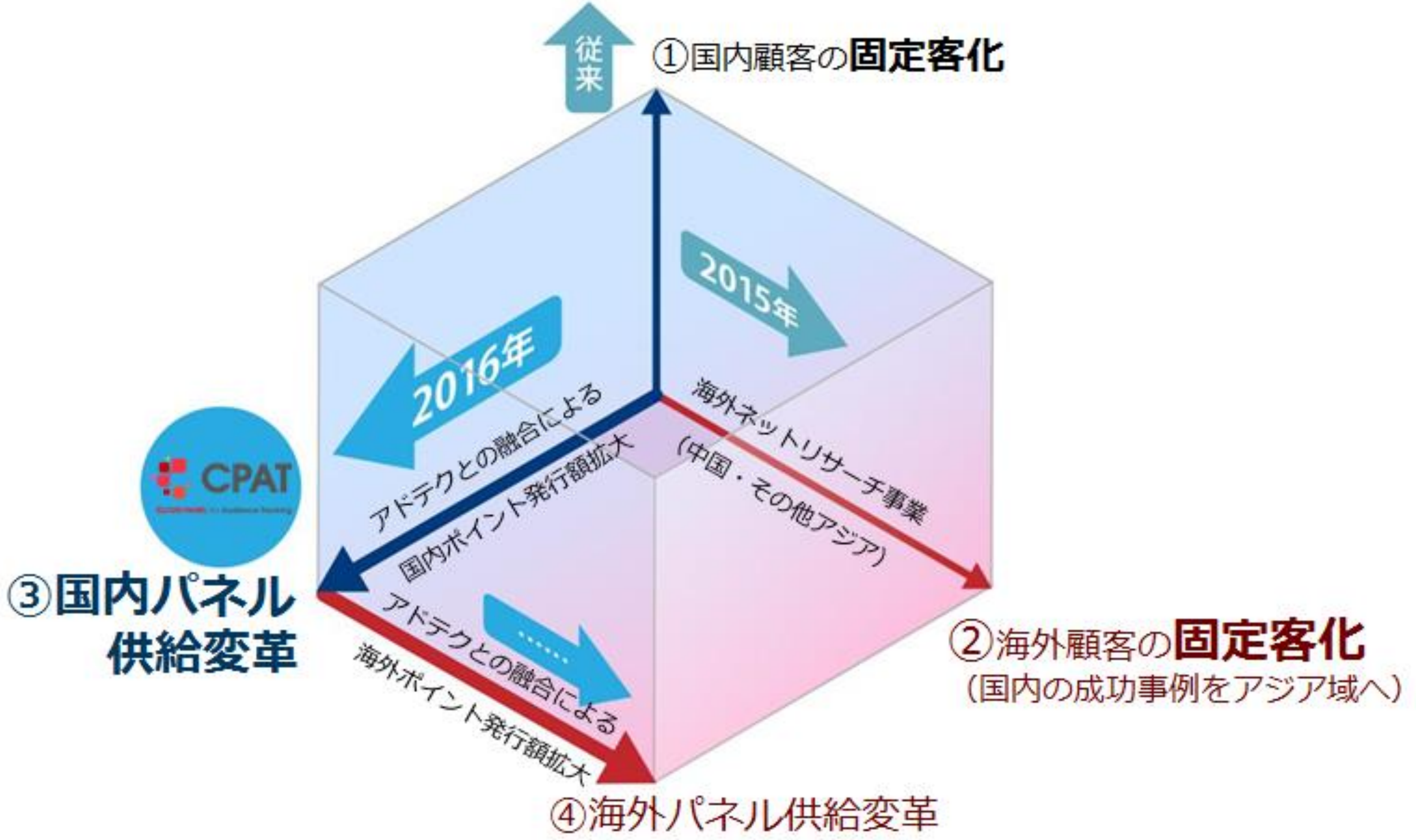
■企業側メリット

・会員との接点強化・活性化
・投資なしでリサーチ売上を獲得
・ポイントを利用した売上促進
・会員情報の蓄積・活用
・会員の理解促進
・ターゲットを絞った販売促進

■当社側メリット

・会員獲得広告宣伝費が不要
・媒体運営コストが不要
・1媒体では実現できない幅広い消費者に調査可能
・アドテクと連携した調査を通して収益を上げながら会員活性化・会員情報の充実が可能

■ 今後の成長戦略　①国内顧客について、基盤を強化し、②海外顧客の固定客化をさらに進め、2016年は特に③国内パネル供給変革に注力



② １Q決算概要

業績（1月-3月）

- 売上高 812百万円（前年同期比23%増）　<u>**過去最高四半期売上高を達成**</u>
- 営業利益 87百万円（前年同期比68%増）　<u>**1Qとして過去最高益を達成**</u>

トピックス（1月-3月）

<u>**3月8日**</u>

- リサーチパネル「CPAT」連携第4弾
 インティメート・マージャー社の
パブリックDMP「AudienceSearch」と連携

<u>**3月15日**</u>

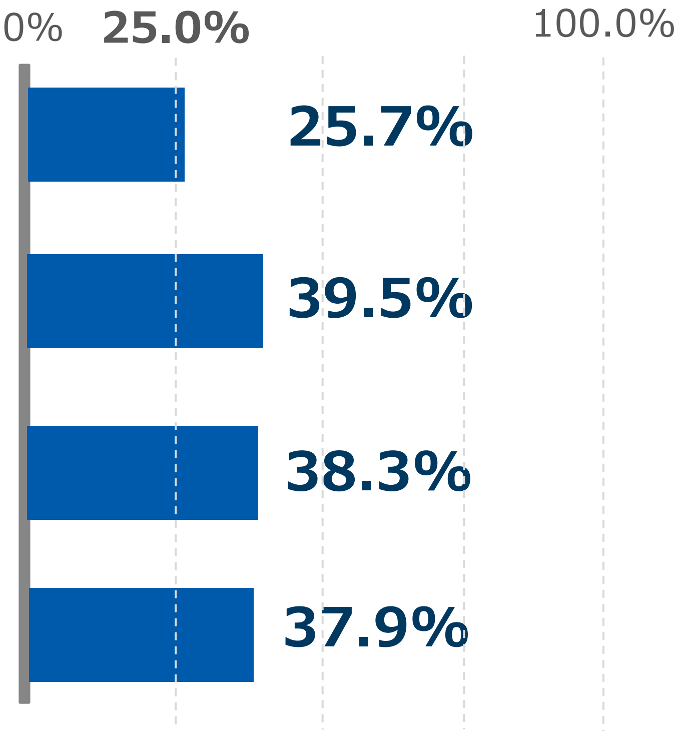
- リサーチパネル「CPAT」連携第5弾
 マクロミルの「AccessMill」と連携

- ■ 売上高成長率は23%となり、前年同期比152百万円増加
- ■ 売上高は、過去最高を記録し、営利も１Q過去最高益

（単位：百万円）	2015 1-3月	2016 1-3月	前年同期比 増減率
売上高	660	812	＋23.1%
営業利益	52	87	＋68.7%
経常利益	46	79	＋70.2%
最終利益	28	47	＋68.6%

■ 通期業績予想に対する進捗率は売上、利益ともに25%超となり順調に推移

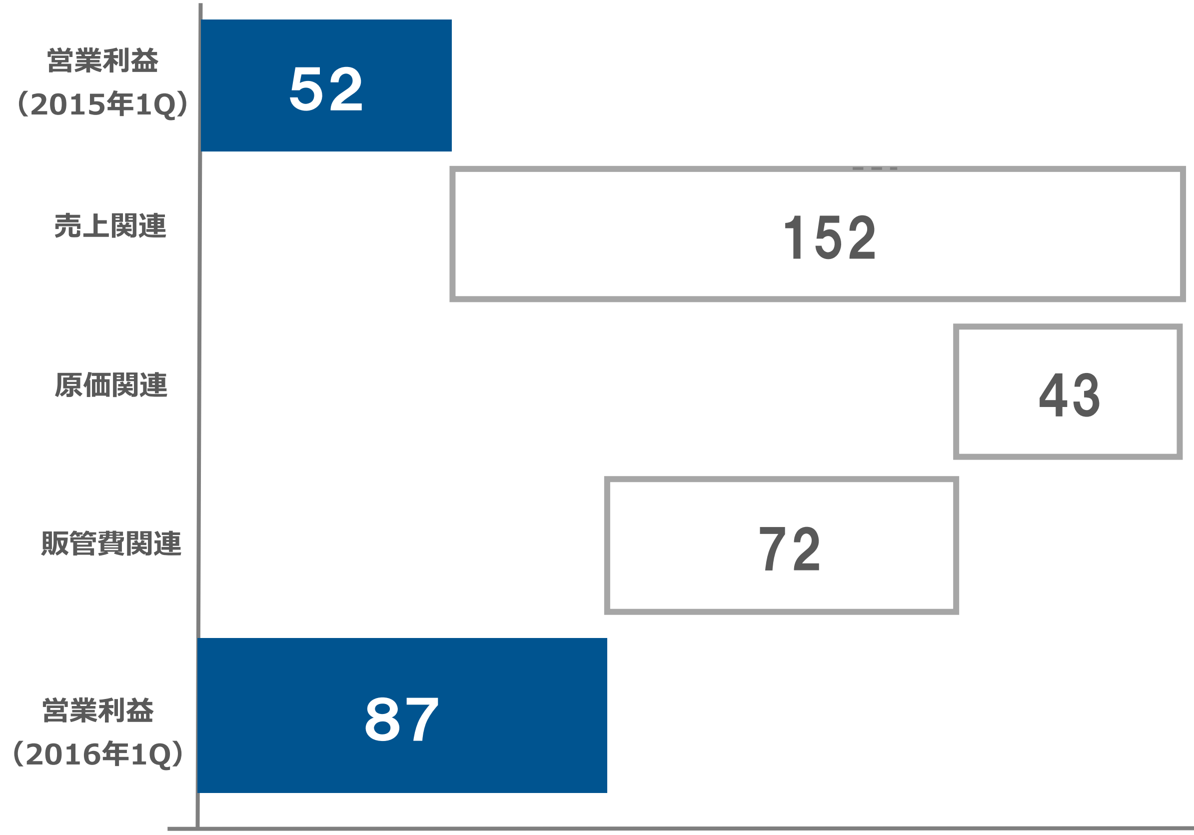
（単位：百万円）	通期連結業績予想	2016 1-3月	進捗率
売上高	3,156	812	25.7%
営業利益	220	87	39.5%
経常利益	206	79	38.3%
最終利益	124	47	37.9%



GMO RESEARCH

■ 売上高の好調により、営業利益は前年同期比68%増の87百万円

（単位：百万円）



<主な増減要因>

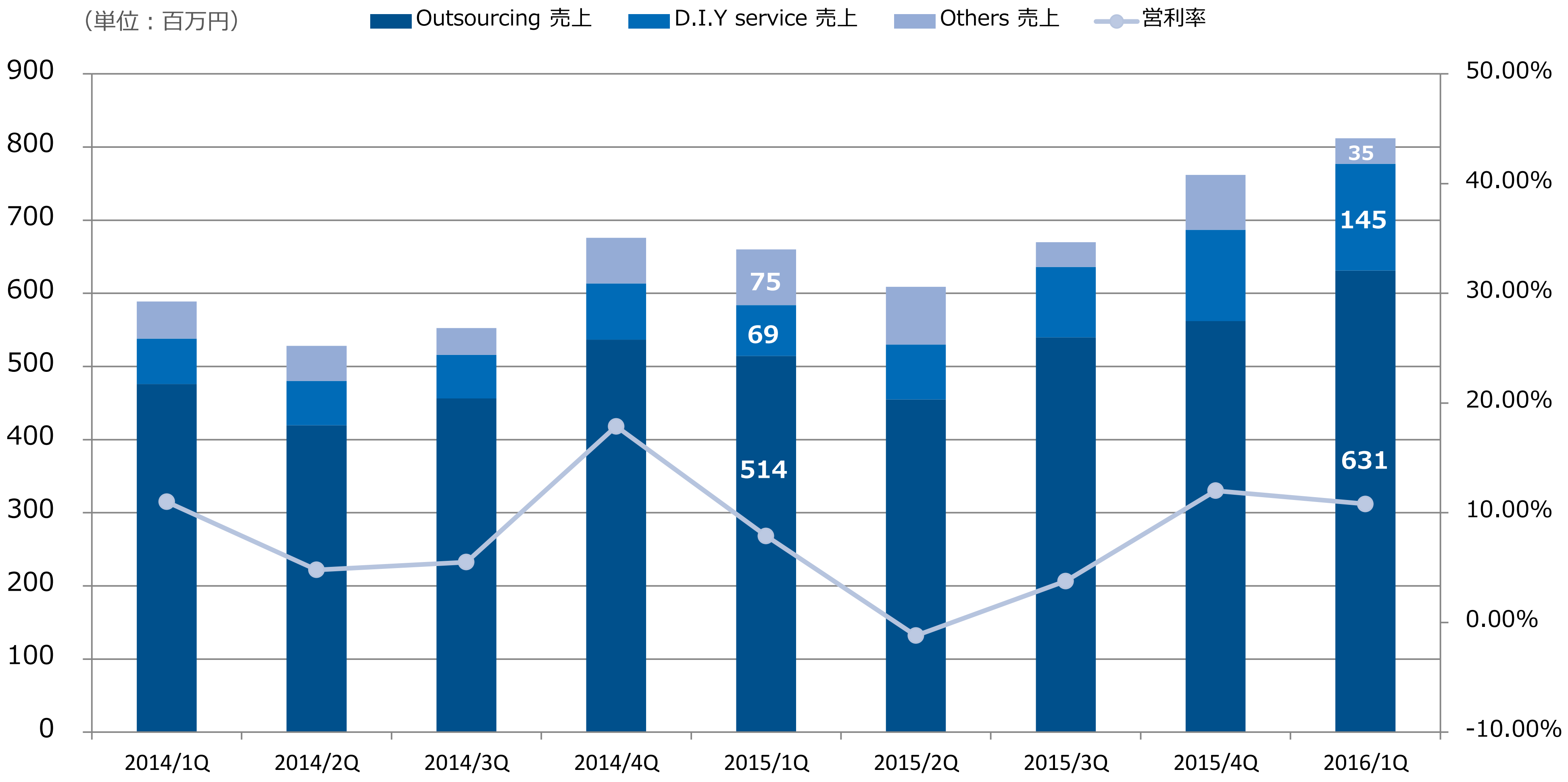
・売上関連
DIYサービスの好調
3月の広告予算消化によるCPATの好調
地域別では、日本、EUの好調

・原価関連
DIYサービスの比率上昇
アジアクラウドパネル利用の促進
中国で粗利率の高い案件への絞込み等
により原価率が減少

・販管費関連
売上好調による、販売コストの増加
（人件費、研修費、インセンティブ等）
infoQ向け広告費の増加

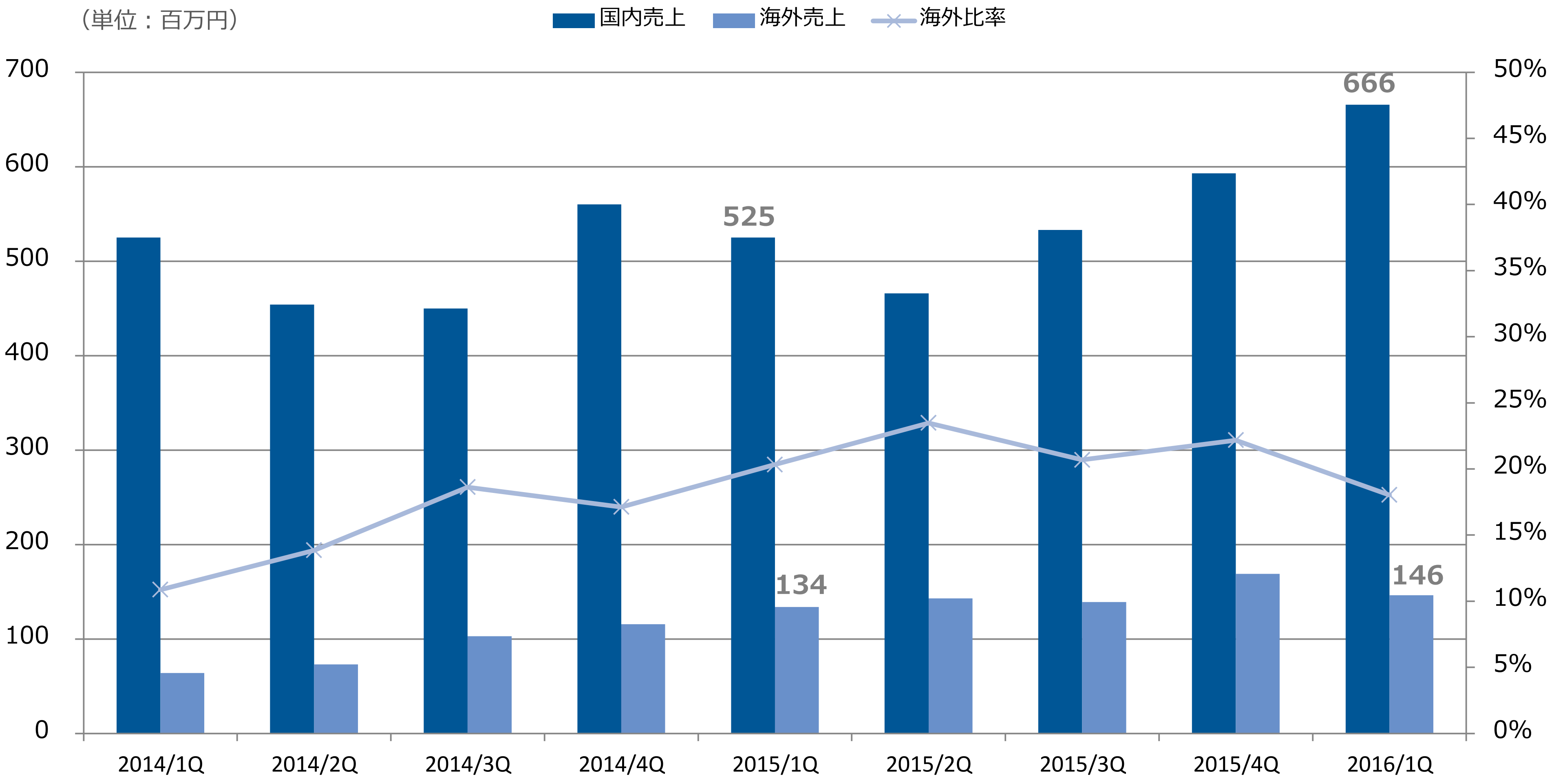
GMO RESEARCH

- アウトソーシングサービスの売上高は、前年同期比23%増で631百万円
- D.I.Yサービスの売上高は、前年同期比110%増で145百万円



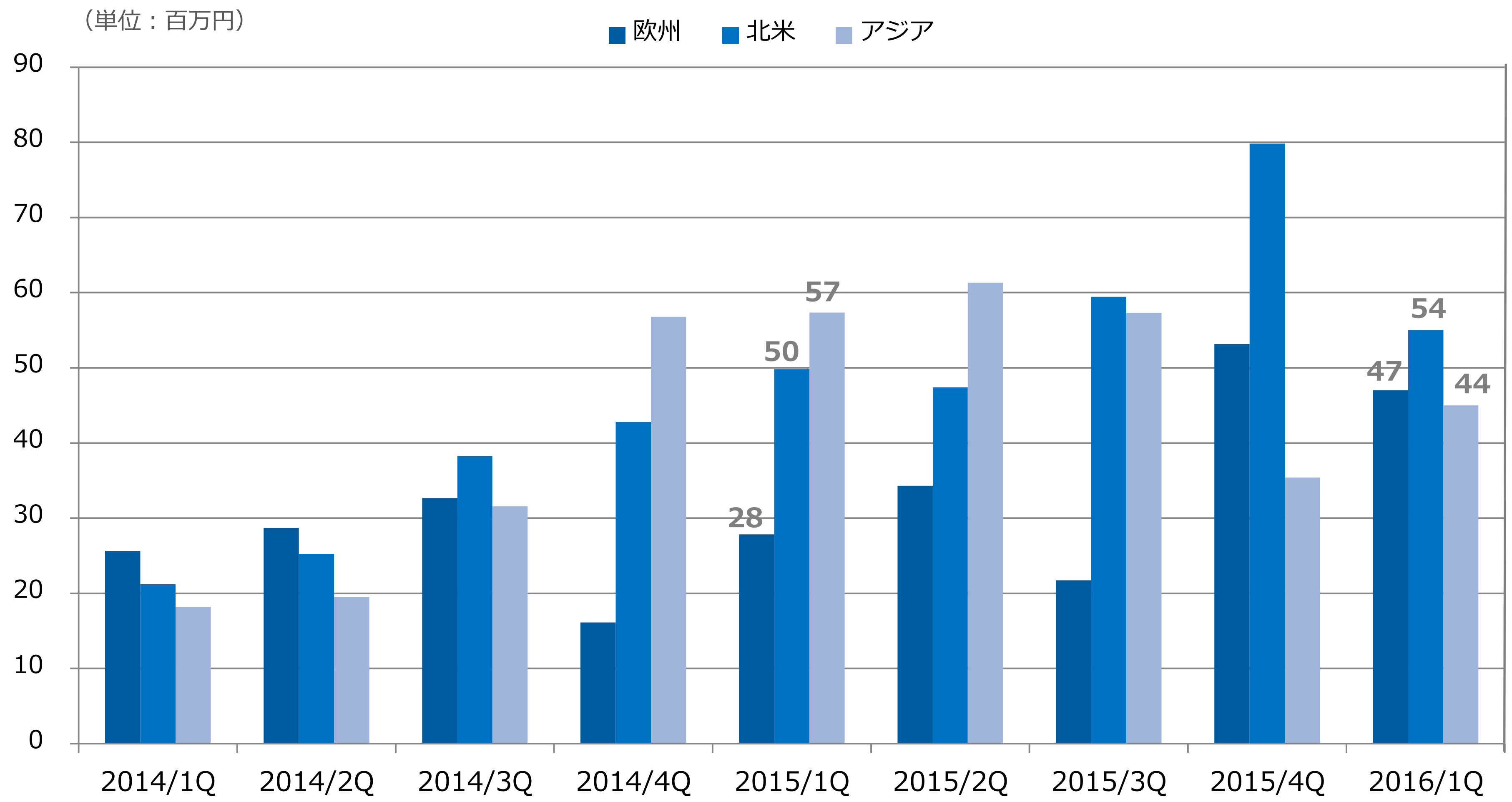
■ 国内売上高は、前年同期比27%増で666百万円

■ 海外売上高は、前年同期比９%増で146百万円



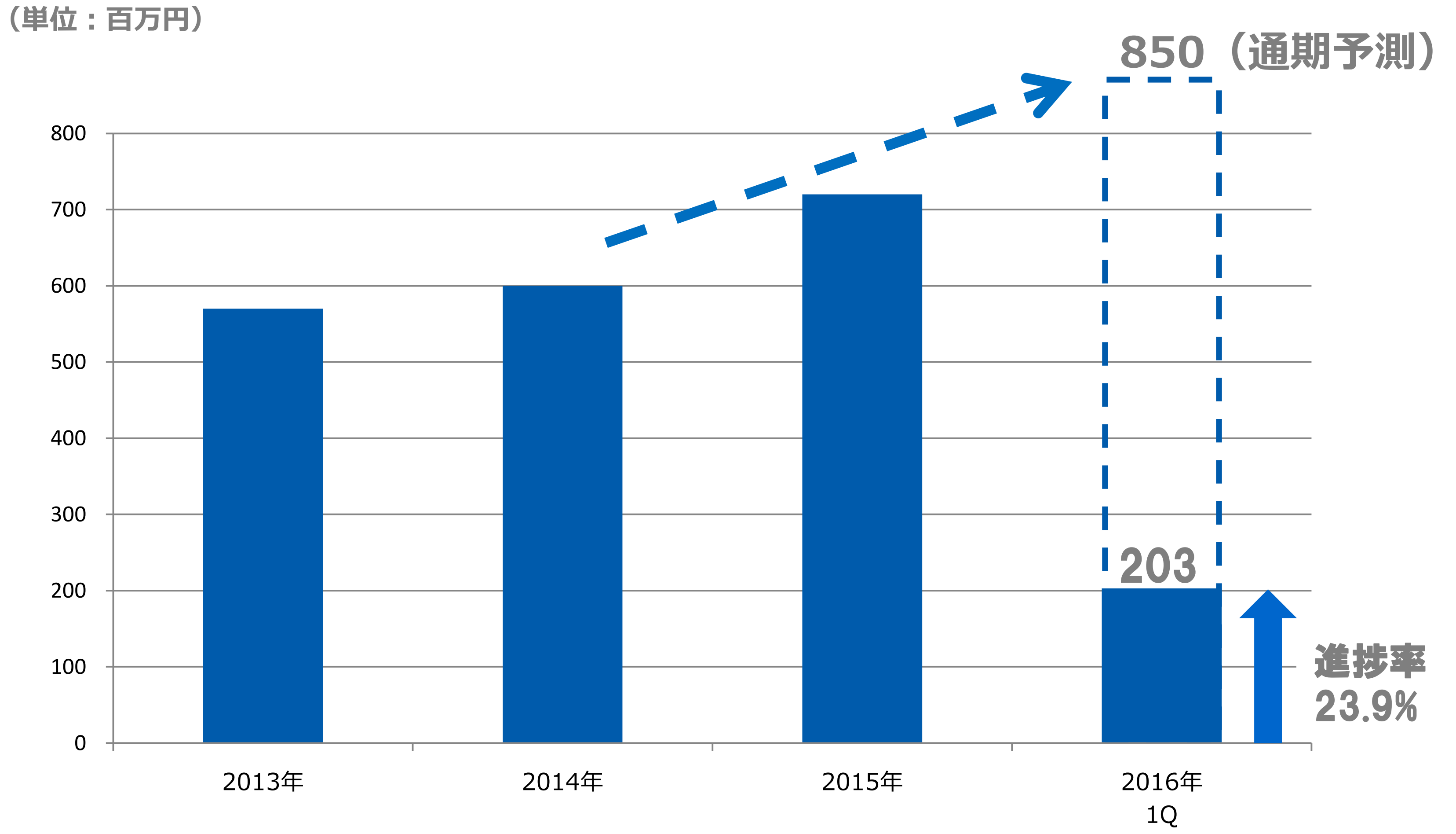
GMO RESEARCH

- 欧州は前年同期比68%増、北米は同10%増
- アジアは中国の景気低迷、高粗利案件への絞込みにより前年同期比21%減



GMO RESEARCH

- ポイント発行額がパネル供給変革のKPI
- パネル供給変革の推進により、「ASIACloudPanel」内ポイント発行額が拡大し、結果当社のプラットフォームが更に強化



3 ＜参考資料＞

- 連結貸借対照表
- サービス別販売先・サービス内容説明表
- アウトソーシングサービスとDIYサービス
- 各拠点人員数推移
- 配当還元方針

GMO RESEARCH

■ 連結貸借対照表

(百万円)	2015年末	2016年1Q末	前期末増減率
流動資産	1,224	1,328	+8.5%
（現金預金）	555	587	+5.6%
固定資産	525	487	▲7.2%
資産合計	1,750	1,816	+3.8%
流動負債	619	674	+8.9%
固定負債	16	20	+22.5%
負債合計	636	694	+9.2%
純資産	1,114	1,121	+0.6%

GMO RESEARCH

サービスの名称		販売先	サービスの内容
アウトソーシングサービス	Full Service	調査会社/広告代理店/コンサルティング企業	・オンラインでのアンケート画面作成・アンケート案内配信・アンケートデータの回収・クリーニング、集計といった一連の工程を一貫して提供します。 ・アドテクのプラットフォームと連携をした広告業界向けへサービスを提供します。（CPAT）
	Sample Supply		・顧客が自社内でオンラインでアンケート画面を作成している場合に、当社が回収管理を行い、顧客のアンケート画面に回答結果を提供します。
D.I.Yサービス	Self Sample Supply（SSS）		インターネットリサーチにおいて、当社がサービスインフラとパネルのみを提供します。
	システム関連売上		GMO Market Observerを顧客のリサーチプラットフォームとして提供します。
その他サービス	New MR/コンベンショナル調査	一般企業	New MRとは、アイトラッキング調査、MROC、Scanamind（スキャナマインド*）、コミュニティといった最先端のマーケティングリサーチソリューションを提供するサービスで新たなプラットフォーム提供のための研究開発の役割を担っています。また、コンベンショナル調査は、オフライン（現場）で実施する調査手法でありオンライン業務の更なる自動化のため戦略的に取り組んでおります。

*Scanamindは、株式会社クリエイティブ・ブレインズの登録商標です（登録番号第5109952号）

サービス名称 / 業務工程	アウトソーシングサービス: Full Service	アウトソーシングサービス: Sample Supply	DIYサービス: Self Sample Supply	DIYサービス: システム関連売上
1. 調査設計	顧客	顧客	顧客	顧客（注）
2. 調査画面作成	GMO Research	顧客	顧客	顧客（注）
3. プロジェクトマネジメント	GMO Research	GMO Research	顧客	顧客（注）
4. パネル管理	GMO Research	GMO Research	GMO Research	顧客（注）
5. Cloud Panel 利用	GMO Research	GMO Research	GMO Research	顧客（注）

（注）お客様の中には、当社のCloud Panelをご利用にならない場合もあります。

GMO RESEARCH

各拠点における正社員数の推移

（単位：人）

	日本	シンガポール	インド	中国	正社員合計
拠点機能	本社 ・国内欧米営業、PJ管理 ・国内パネル管理 ・システム開発	・東南アジア営業 ・東南アジアパネル管理	欧米、東南アジアPJ管理、営業補助	・営業 ・PJ管理 ・中国パネル管理	
2014年7月1日時点	77	1	9	5	92
2015年1月1日時点	82	2	11	5	100
2015年7月1日時点	90	2	12	8	112
2016年1月1日時点	85	1	13	9	108
2016年7月1日**見通し**	85	2	13	7	107
半期人員増減数	0	＋1	0	△2	△1
補足	変動無し	日本から転籍	変動無し	非労働集約的な商材へのシフトによる減少	ー

GMO RESEARCH

■ 2016年12月期は、配当は過去最高の37.60円を目標とする。

■ 前回発表から変更なし

	2014年度	2015年度	2016年度
	実績	実績	（計画）
1株当たり年間配当金（円）	36.54	22.00	**37.60**
総配当性向（%）	40.0	45.4	**50.0%**
1株当たり当期純利益（円）	91.38	48.42	**75.13**

本日はありがとうございました。

GMO RESEARCH

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。
従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。